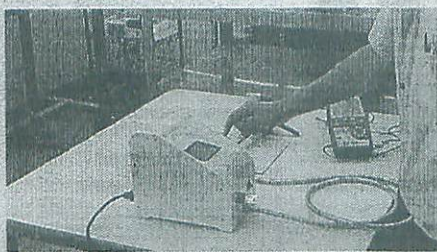
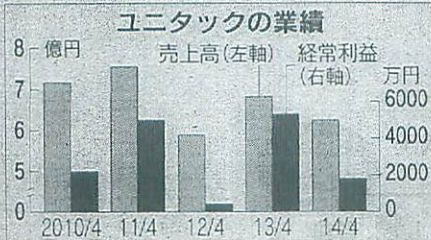


レーザー治療器開発

ユニタック

レーザー発生装置用電源の製造が主力のユニタック(広島県尾道市)は、医療機器事業に参入する。レーザーを患部に照射して関節などの痛みを和らげる治療器を開発、秋にも本格販売を始める。従来機より出力が大きく、治療時間が短くて済むなどの特長を訴え、整形外科やペインクリニックの需要を開拓する。来年には歯科医療用も開発し、3～5年後に医療分野で年間10億円の売り上げ達成を目指す。



高出力で照射、痛み緩和 まず整形外科を開拓

開発した治療器は半導体を使って光を増幅し、レーザーを作る。出力は医療機器事業を経営の柱に育てていく(広島県尾道市)

10億と現状の競合品の10倍ほど。患部にレーザーが届く深さは競合品の5～7割に比べ、ユニタックの治療器は皮膚の表面から28割程度。治療時間の短縮の効果が期待できるといふ。1台の販売価格は定価200万円程度を検討している。使い方によっては皮膚病の症状改善に役立てたり、神経を刺激したりする治療に活用できるといふ。

今春に医療機器として厚生労働省の承認を得た。既に整骨院などで試験的に導入しており、今秋にも販売を始める。整形外科やペインクリニックのほか、整骨院や産婦人科などの需要も見込み、利用法を提案しながら売り込む。

痛み緩和などの用途を

商談仲介 無料で掲載

広島4信金が共同サイト 閲覧も自由

広島県内の全4信用金庫は、企業の商談を取り次ぐインターネット上のマッチングサイトを共同で運営する。各信金の本部に配置した担当者が、情報掲載や商談申し込みを仲介する。

11月26日に広島市内で開催するマッチングイベントに合わせてサイトを立ち上げた。イベント終了後もマッチングサイトは年間を通じて存続さ

想定した歯科や耳鼻咽喉科向けの応用商品も開発。早ければ年内にも医療機器としての承認を得るための申請手続きを始める。

レーザー治療器全体で、3～5年後に年間10億と現状の競合品の10倍ほど。患部にレーザーが届く深さは競合品の5～7割に比べ、ユニタックの治療器は皮膚の表面から28割程度。治療時間の短縮の効果が期待できるといふ。1台の販売価格は定価200万円程度を検討している。使い方によっては皮膚病の症状改善に役立てたり、神経を刺激したりする治療に活用できるといふ。

「後継者不在」71%

5県、北海道に次ぎ高く

民間調べ

帝国データバンク広島支店は19日、中国地方に本社を置く企業の71・5%で後継者がいないとの調査結果をまとめた。全国では北海道に次いで不在率が高い。少子高齢化が進むなか、後継者が見つからずに廃業や事業譲渡を余儀なくされるケースが増えそうだ。

後継者の不在率は全国平均で65・4%。地域別では北海道が72・8%と最も高く、四国が48・7%と最低だった。県別では広島が75・2%と1位(沖繩(83・2%)に次ぐ)で、後継者は50

6億円。10年以上使っても不具合が発生しない耐久性や安定性が強み。自社が設計・開発に特化し、実際の生産は広島県内の協力工場に任せる体制をとっている。

現在の販売先であるレーザー発生装置メーカーが欧米や新興国との競争激化にさらされている。電源事業の先行きが今後、一段と不透明になると判断、医療機器事業を将来の経営の柱に育てる。

「後継者不在」71% 5県、北海道に次ぎ高く

民間調べ

「高き。山口、鳥取、島根も上位10位以内に入った。岡山は27位だった。売り上げ規模別では、1億円未満の企業が79・7%と最も高く、規模が小さいほど後継者不足に悩まされている状況が明らかになった。業種別では、サービスが75・7%と最高だった。一方、後継者が「いる」と答えた企業のうち、後継者は50

就活の事情紹介 保護者向け講座

広島県、県庁で10月 広島県は10月25日、子

鉄路探訪

中四国の夏



八栗ケーブル(四国ケーブル)

初代0系新幹線と「同期」で、今年デビュー50周年を迎える(高松市)

山などの急勾配の斜面に敷設され、鋼鉄のロープで引上げられて進むケーブルカー。ガタゴトと音を立てて進むその姿は愛嬌(あいぎょう)たっぷり。どこか懐かしさも感じさせる。自動車の普及に伴い廃線になったしまつた路線も多いが、四国ケーブルが運行する高松市の八栗ケーブルは今も現役で走り続ける中四国地方唯一のケーブルカーだ。

市中心部から車で約20分の五剣山の麓。上西編成の車両に乗り込むと、

愛嬌たっぷり お遍路運ぶ

上八二〇年をめぐり、お遍路運ぶ